



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社 ベルーナ

上場取引所 東

コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 松田 智博

TEL 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	83,702	5.8	5,417	△4.1	5,056	△6.3	2,584	△35.7
23年3月期第3四半期	79,098	4.9	5,650	33.9	5,399	27.2	4,019	60.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,903百万円 (△20.1%) 23年3月期第3四半期 3,633百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	51.86	48.84
23年3月期第3四半期	80.19	74.69

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	116,689	58,960	50.5	1,204.07
23年3月期	110,595	57,465	52.0	1,146.45

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 58,960百万円 23年3月期 57,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—		
24年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	5.4	6,800	1.0	6,700	5.3	4,200	△4.3	84.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	56,592,274 株	23年3月期	56,592,274 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,624,207 株	23年3月期	6,467,471 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	49,844,548 株	23年3月期3Q	50,125,389 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による悪化から持ち直し傾向がみられたものの、欧州の債務問題や円高の長期化など景気の先行きに不透明感が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは継続的な成長性、収益性、安定性の実現に向け、引き続き顧客ニーズを的確に捉えた商品展開と、Eコマースの拡大に努め、新規顧客及びリピート顧客の拡大を図って参りました。また、財務健全化の一環として有利子負債の削減を図って参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83,702百万円（前年同期比5.8%増）となりました。利益面におきましては、専門通販事業における積極的な媒体展開などで営業利益は5,417百万円（同4.1%減）となりました。経常利益は、米国子会社の清算に伴い為替差損を計上したことにより5,056百万円（同6.3%減）となりました。四半期純利益は、投資有価証券売却損111百万円を計上したこと等により2,584百万円（同35.7%減）となりました。

#### 〔総合通販事業〕

東日本大震災の影響は比較的軽微で済み、「家庭用品」や「アパレル」などが順調に売上を伸ばした結果、売上高は56,820百万円（同7.7%増）となりました。セグメント利益は売上原価率が上がる一方で、経費削減効果もあって2,124百万円（同36.7%増）となりました。

#### 〔専門通販事業〕

化粧品、健康食品の事業において、通期での増収を実現するため積極的な媒体展開を行いました。その結果、売上高は16,705百万円（同8.9%増）、セグメント利益は1,150百万円（同39.7%減）となりました。

#### 〔ソリューション事業〕

総合通販事業の商品発送数の増加に加え、付加価値サービスの提供で、封入・同梱サービスが順調に拡大、また通信販売代行等の受託サービスもクライアント企業に対する提案型営業が功を奏したため、売上高は3,009百万円（同16.3%増）、セグメント利益は1,180百万円（同6.2%増）となりました。

#### 〔ファイナンス事業〕

営業貸付金残高の減少などにより、売上高は2,018百万円（同17.9%減）となりました。セグメント利益も、184百万円（同45.1%減）となりました。

#### 〔プロパティ事業〕

前年同期に計上した販売用不動産の売却がなかったこともあって売上高は866百万円（同55.2%減）となりました。一方、セグメント利益は販売用不動産の評価損がなかったことなどで247百万円（同47.2%増）となりました。

#### 〔その他の事業〕

和装の店舗展開を行っている㈱BANKAN、㈱わものやが順調に売上を伸ばし、売上高は4,604百万円（同8.6%増）となりました。セグメント利益は増収効果もあって、422百万円（13.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ8,144百万円増加し、77,099百万円となりました。これは売上増加に伴い、現金及び預金が2,460百万円、受取手形及び売掛金が2,282百万円、商品及び製品が2,581百万円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,050百万円減少し、39,590百万円となりました。これは主に破産更生債権等が1,700百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6,094百万円増加し、116,689百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ6,977百万円増加し、46,511百万円となりました。これは主に売上の増加に伴い、商品及び製品の仕入が増加したことにより支払手形及び買掛金が6,382百万円、未払費用が840百万円とそれぞれ増加した一方で、短期借入金が1,283百万円減少したことによるものであります。固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,377百万円減少し11,217百万円となりました。これは主に長期借入金が1,587百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,599百万円増加し57,729百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,494百万円増加し58,960百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,836百万円増加した一方で、自己株式を660百万円取得したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.5%（前連結会計年度末は52.0%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度の適用を含め国内子会社の一体管理が重要になってきたこと、また、専門通販事業内での重要性が増してきたため、子会社である㈱ナースリーを連結の範囲に含めております。

また、ビーエヌ インターナショナル ユーエスエー インクが平成23年4月、㈱ベルーナメーリングサービスが平成23年9月をもって清算終了しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,688	23,148
受取手形及び売掛金	10,937	13,220
営業貸付金	15,793	15,428
有価証券	3,275	4,104
商品及び製品	9,215	11,797
原材料及び貯蔵品	605	666
販売用不動産	4,768	3,620
仕掛販売用不動産	433	876
繰延税金資産	1,356	408
その他	3,231	5,230
貸倒引当金	△1,351	△1,404
流動資産合計	68,954	77,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,154	11,090
機械装置及び運搬具（純額）	129	116
工具、器具及び備品（純額）	473	375
土地	15,125	15,584
リース資産（純額）	372	285
建設仮勘定	55	21
有形固定資産合計	27,310	27,473
無形固定資産		
のれん	361	263
リース資産	959	951
その他	3,881	3,176
無形固定資産合計	5,202	4,391
投資その他の資産		
投資有価証券	1,930	2,204
長期貸付金	1,009	690
破産更生債権等	5,877	4,177
繰延税金資産	1,664	958
その他	1,944	1,891
貸倒引当金	△3,300	△2,197
投資その他の資産合計	9,126	7,724
固定資産合計	41,640	39,590
資産合計	110,595	116,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,197	19,579
短期借入金	4,893	3,609
未払費用	5,786	6,626
リース債務	542	581
1年内償還予定の社債	200	200
1年内償還予定の新株予約権付社債	11,000	11,000
未払法人税等	1,117	721
賞与引当金	345	228
返品調整引当金	64	90
ポイント引当金	532	463
災害損失引当金	126	1
その他	1,729	3,409
流動負債合計	39,534	46,511
固定負債		
社債	700	600
長期借入金	8,494	6,906
利息返還損失引当金	2,042	1,683
リース債務	654	431
退職給付引当金	283	287
役員退職慰労引当金	213	218
資産除去債務	432	439
その他	774	649
固定負債合計	13,594	11,217
負債合計	53,129	57,729
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	46,215	48,052
自己株式	△8,796	△9,456
株主資本合計	59,029	60,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	15
為替換算調整勘定	△1,486	△1,261
その他の包括利益累計額合計	△1,563	△1,245
少数株主持分	0	0
純資産合計	57,465	58,960
負債純資産合計	110,595	116,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	79,098	83,702
売上原価	34,779	36,720
売上総利益	44,319	46,982
返品調整引当金繰延差額	4	25
差引売上総利益	44,315	46,956
販売費及び一般管理費	38,664	41,539
営業利益	5,650	5,417
営業外収益		
受取利息	51	55
為替差益	260	—
その他	297	517
営業外収益合計	609	572
営業外費用		
支払利息	363	270
為替差損	—	537
デリバティブ評価損	111	28
その他	385	96
営業外費用合計	860	933
経常利益	5,399	5,056
特別利益		
償却債権取立益	69	—
固定資産売却益	282	—
訴訟損失引当金戻入額	30	—
特別利益合計	382	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	111
投資有価証券評価損	10	51
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	205	—
店舗閉鎖損失	—	72
特別損失合計	216	235
税金等調整前四半期純利益	5,565	4,821
法人税、住民税及び事業税	1,187	700
法人税等調整額	358	1,536
法人税等合計	1,545	2,236
少数株主損益調整前四半期純利益	4,019	2,584
少数株主利益	0	0
四半期純利益	4,019	2,584



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,019	2,584
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△45	93
為替換算調整勘定	△340	224
その他の包括利益合計	△386	318
四半期包括利益	3,633	2,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,633	2,903
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	52,661	15,340	2,470	2,458	1,928	4,238	—	79,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85	0	116	—	7	—	△211	—
計	52,747	15,341	2,587	2,458	1,936	4,238	△211	79,098
セグメント利益	1,553	1,908	1,111	335	168	373	199	5,650

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳298百万円とのれん償却費△98百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	56,730	16,671	2,810	2,018	866	4,604	—	83,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	34	198	—	—	—	△323	—
計	56,820	16,705	3,009	2,018	866	4,604	△323	83,702
セグメント利益	2,124	1,150	1,180	184	247	422	107	5,417

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳206百万円とのれん償却費△98百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。